

創立 120 周年記念事業について

株式会社東洋経済新報社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山縣裕一郎）は、本年の 11 月に創立 120 周年を迎えます。永年のご愛顧に心より感謝申し上げます。

当社では、創立 120 周年を迎えるにあたり、さまざまな取り組みを実施してまいります。下記以外にも様々なプロジェクトを準備しており、概要が固まり次第、ご報告する予定です。



『120 周年記念ロゴ』

主な創立 120 周年記念事業（予定）

| 事業名 | 事業内容 |
|----------------------|--|
| 東洋経済デジタルアーカイブ | 1895年11月の創刊から1945年12月までに発行された『東洋経済新報』の約2000冊をデジタル化。記事のタイトルや目次の検索が可能。2015年夏頃リリース予定。 |
| 東日本大震災 学術調査プロジェクト | 「震災の記録的保存と社会への貢献」をねらいとした日本学術振興会のプロジェクトの成果を書籍化する。全8巻（予定）。2015年春頃から逐次刊行。 |
| 『アジア長期経済統計』 | 汎アジア圏の経済統計を長期的・系統的に収集・統合し、書籍+CD-ROMとして刊行。全12巻。「台湾」「中国」に続き、2016年中に3巻目の「韓国」を刊行。 |
| 記念シンポジウム | 2015年秋、東京都内の会場で、著名経営者や大学教授、評論家を招き、これからの日本が向かうべき進路や課題などをテーマにシンポジウムを開催予定。 |
| 『東洋経済新報社百二十年史』 | 高い評価をいただいた『百年史』（1995年発刊）に、最新20年分の足跡を追加し『百二十年史』として世に送り出す。2015年秋刊行予定。DVD版も発行。 |

創立 120 周年記念事業の紹介ページ

<http://corp.toyokeizai.net/special/120th/>

当社は、明治 28 年（1895 年）に創立されました。現在刊行されている週刊誌で最も歴史のある『週刊東洋経済』と『会社四季報』を中核に、日本の経済の発展に寄与する事を使命とし歴史を歩んできました。雑誌・書籍の刊行、データベース事業に加え、電子出版事業や『東洋経済オンライン』などネットを通じたビジネス情報・投資情報の発信を行っています。